



Sagami Women's University

後援会会報

March.2022 No.54



後援会ホームページ リニューアルのお知らせ



相模女子大学・相模女子大学短期大学部後援会のホームページをリニューアルしました。定期総会の案内や後援会の活動の案内などをわかりやすくするとともに、新たに会員通信など役員の声をお届けするコンテンツも加え、定期的な情報発信で充実化を図ってまいります。後援会ホームページを、ぜひご利用ください。



ホームページを活用いただくために

- **定期総会に電子表決を導入します**
所定のフォームに入力することで表決が可能となります。
- **後援会会報電子版のアップを行います**
冊子でのお届けは今号で終了となります。次号(10月予定)よりPDFの閲覧をお願いいたします。
- **会員通信で役員の方の声をお届けします**
感想メールもお待ちしております。

<https://sagami-wu-kouenkai.com>



目次

後援会からのお知らせ	1~2	大学からのお知らせ	7~10
後援会ホームページリニューアルのお知らせ/2021年度役員会報告/卒業生に袱紗をプレゼント		学生の学びの環境「ラーニングcommons」/教職センターより/学修上(履修・成績)の留意点/保健センターより/学生相談室より/2022年度出願可能な奨学金制度のご案内/2022(令和4)年度学年暦(大学)(短大)	
2021年度事業報告	3~4	地域活動紹介/大学祭実行委員会	11
2021年度「就職懇談会オンライン」開催報告/就職支援課より	5~6	クラブ活動報告	12
就職トピックス/就職支援Q&A		2021(令和3)年度 課外活動奨励賞受賞者一覧	13
		2021(令和3)年度 科学研究費助成事業採択状況	14

後援会からのお知らせ

2021年度役員会報告

役員会

日時:2021年10月8日(金)~10月19日(火)

常任理事会 (書面形式で実施)

- 議事 ①予備費の執行について(提案)
②卒業記念品について(提案)
③防災用品について(提案)
④相生祭の対応について(報告)
⑤後援会ホームページについて(報告)

日時:2021年10月20日(水)~11月2日(火)

理事会 (書面形式で実施)

- 議事 ①予備費の執行について(提案)
②卒業記念品について(提案)
③防災用品について(提案)
④相生祭の対応について(報告)
⑤後援会ホームページについて(報告)

日時:2022年2月12日(土)9:30~10:30

常任理事会 (オンラインで実施)

- 議事 ①2021年度 事業報告(案)について
②2021年度 予算執行状況及び追加執行について
③2022年度 後援会行事日程(案)について
④2022年度 定期総会の開催方式(案)について
⑤2022年度 教育懇談会の開催方式(案)について
⑥2022年度 就職懇談会オンラインの開催方式(案)について
⑦2022年度 事業計画(案)について
⑧2022年度 概算予算(案)について
⑨その他

日時:2022年2月12日(土)10:40~11:40

理事会 (オンラインで実施)

- 議事 ①2021年度 事業報告(案)について
②2021年度 予算執行状況及び追加執行について
③2022年度 後援会行事日程(案)について
④2022年度 定期総会の開催方式(案)について
⑤2022年度 教育懇談会の開催方式(案)について
⑥2022年度 就職懇談会オンラインの開催方式(案)について
⑦2022年度 事業計画(案)について
⑧2022年度 概算予算(案)について
⑨その他

ご案内 後援会役員を募集しています

在学生のご父母・保証人が会員となっております相模女子大学・相模女子大学短期大学部後援会では、現在、2022年度の新役員を募集しております。

役員会資料や発行物の作成などは、後援会事務局が行うため、事務負担はありません。

また、就任された皆さまには、役員会(年間4回程度)にご出席いただき、後援会の事業計画や予算等について審議をお願いしております。大学と連携を取りながら、学生のために支援できることを進めていくために、ぜひ皆さまのご協力をお願いいたします。

後援会事務局連絡先

〒252-0383 神奈川県相模原市南区文京2-1-1
相模女子大学・相模女子大学短期大学部後援会事務局
(受付:月・水・金 10:00~18:00)

TEL 042-747-9067

E-mail:kouenkai@mail2.sagami-wu.ac.jp

後援会から

卒業生に袱紗をプレゼント

新社会人になる卒業生に、後援会より卒業記念品として本学校章が印字された袱紗を贈呈しました。



2021年度事業報告

相模女子大学・相模女子大学短期大学部に対する援助

① 教育研究活動の充実を図る

後援会図書購入助成費取扱要項に基づき電子書籍を購入し、さらに、学外から電子書籍やデータベースを閲覧できるシステム「EZproxy」を継続しました。また、自主学習の場づくりとして附属図書館(1階グループ学習室Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、2階グループ学習室Ⅳ)の什器を可動式の机と椅子に入れ替えをしました。また、館内に空気清浄機8台及び、2階のPCコーナー用の椅子(可動式)を購入しました。

附属図書館担当者より

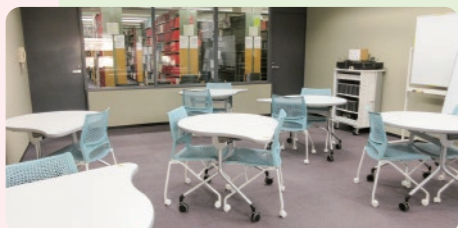
グループ学習室は、例えば図書館の資料を使って授業やゼミを行ったり、学生同士でのディスカッションなどグループワークを行う部屋です。今回、可動式・折り畳み式の机や椅子になったことで、授業の内容や人数に応じて、自由に配置を変えられるようになりました。また、白を基調としたデザインで部屋の雰囲気も明るくなりました。年明けにリニューアルオープンし、早速学生さんが使っているのを見て、嬉しく感じております。



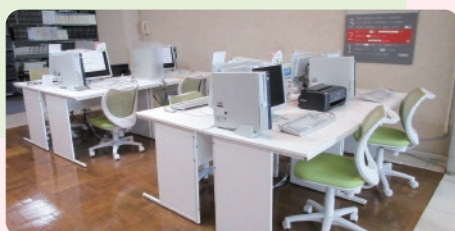
グループ学習室Ⅰ・Ⅱ



グループ学習室Ⅲ



グループ学習室Ⅳ



PCコーナー

② 学生の福利厚生を充実を図る

クラス会開催費として、経費の一部を補助しました。また、卒業式当日、卒業生一人ひとりに卒業記念品・本学校章の入った「袱紗」(P.2参照)と、卒業記念パーティの代わりに紅茶の詰め合わせを贈りました。

③ 学生の課外活動の充実と活性化を図る

コロナ禍により、クラブ・委員会活動が制限されましたが、6団体のクラブに対し、活動に必要な用品の購入を助成しました。

④ 学生の課外活動における顕著な活動を顕彰する

課外活動の分野で顕著な活躍をした個人と団体を大学が顕彰することに伴い、卒業式で副賞を授与しました(2021年度課外活動奨励賞の受賞者並びに表彰内容・理由はP.13に掲載)。

⑤ 学生の就職活動を支援する

就職に関する各種講座やイベントの経費の一部を助成しました。

- Zoomを活用した就職セミナー
- SPI模擬試験・試験解説講座
- 保護者版就職ガイドブック など

刊行物について

会報53号を2021年10月に発行、会報54号を2022年3月に発行(今号)し、会員及び関係者に配付しました。

災害対策助成費について

地震等の災害に大学に滞留せざるを得ない学生のための「非常用防災グッズ」を1000セット購入しました。



防災グッズ

弔慰費について

会員のご不幸は、大学7名でした。会則により弔意を表しました。ここに謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

その他

予備費(新型コロナ対策支援経費)より、新型コロナワクチン大学拠点接種の支援を行いました。また、換気強化を行う必要がある教室や保健センターにサーキュレーターを25台、カフェテリア、3号館ラウンジ、図書館に空気清浄機を5台購入し、設置しました。

新型コロナワクチン大学拠点接種の支援を行いました

◆1回目:2021年9月2日~9月5日

1回目接種人数:1,379名

◆2回目:2021年9月30日~10月3日

2回目接種人数:1,371名



受付の様子



接種会場の様子

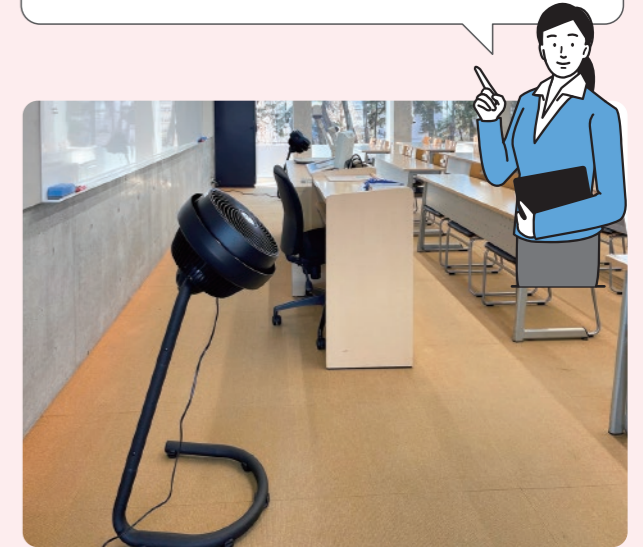
トイレの快適化、学習スペースの整備に関する追加執行について

学内でヒアリングを行った結果、早急に対応が必要である、トイレの快適化と学習スペースの改善を行いました。トイレの快適化を図るために「トイレクリーナー」や、物が置ける「ペーパーホルダー」を設置。また、学習スペースに半個室ブースを設置し、学習に集中できる環境へと改善します。



保健センター担当者より

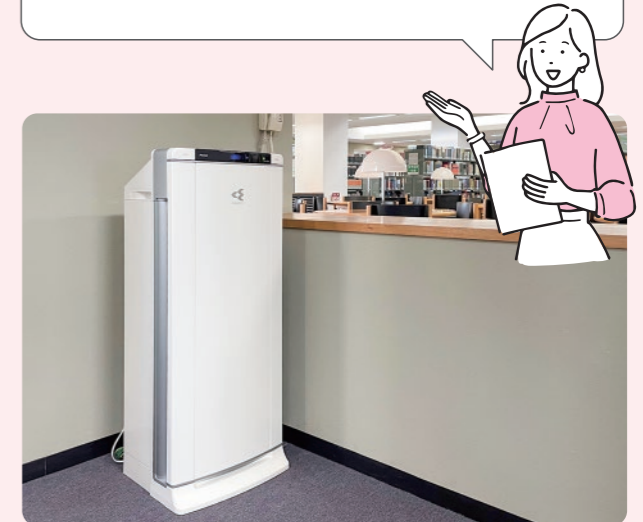
今回導入していただいたサーキュレーターは、風量があり、換気ができていることを実感しています。『まず換気が大事』と言われているので、学生の皆さんの健康管理に大変役立っております。



教室に設置されたサーキュレーター

附属図書館担当者より

附属図書館では、新たに5台を設置いただきました。現在、24時間稼働しています。1階に3台、2階に2台を設置しております。一時期は図書館の利用時間2時間以内という制限も行っておりましたが、一部緩和されたことにより(1月時点)空気清浄機があるため、安心して図書館を利用いただけるようになったと思います。



図書館に設置された空気清浄機

2021年度「就職懇談会オンライン」開催報告

大学及び短期大学の保証人を対象とした「就職懇談会」は、昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大の影響によりオンライン(動画配信)での開催となり、334名の方々に動画をご覧いただきました。

開催概要

動画配信期間
2021年10月29日(金)～2022年1月31日(月)

配信内容

- ① **学長メッセージ**
 相模女子大学・相模女子大学短期大学部 学長 田畑 雅英
- ② **講演「コロナ禍における就職活動」**(約50分)
 講師: 株式会社マイナビ キャリアサポート1課 課長 古口 舞
- ③ **内定獲得者へのインタビュー**(合計10名:1名につき約20分)
 日本語日本文学 4年 築田 陽菜
 英語文化コミュニケーション学科 4年 小林 英未
 子ども教育学科 4年 山室 萌華
 メディア情報学科 4年 中村 渚
 生活デザイン学科 4年 下石 和
 社会マネジメント学科 4年 住谷 友菜
 人間心理学科 4年 黒岩 珠緒

- 健康栄養学科 4年 青木 優衣
- 管理栄養学科 4年 鶴沼 早矢香
- 食物栄養学科 2年 皆川 明希
- ④ **編入学決定者へのインタビュー**(約10分)
 食物栄養学科 2年 工藤 遥



「内定獲得者へのインタビュー」動画撮影の様子

- ⑤ **報告「本学の就職状況および就職支援課の取り組み」**
 報告者: 夢をかなえるセンター 就職支援課長 武石 聡子

就職支援課より

問い合わせ先

就職支援課 042-742-1734

就職トピックス

就職準備講座(秋学期)

(対象) 大学3年生、短期大学部1年生

9月30日～12月2日までの毎週木曜日に「就職準備講座」を実施しました。春学期に引き続き全てZoomでの実施となりましたが、春学期同様出席率が高く、学生たちの意識の高さを感じることができました。具体的な実施内容としては、秋学期以降の就職活動の進め方、自己分析(復習)、業界・職種説明、業界・企業まるわかり講座、内定者の就活体験などを行いました。2、3月は筆記試験対策のための講座を複数回実施しています。

業界・企業研究会

(対象) 大学3年生、短期大学部1年生

11月～2月末にかけて合計12回、本学の学生を採用したいと考えている企業の採用担当者の方から、業界の特徴や企業の魅力についてお話しいただく「業界・企業研究会」を実施しました。昨年度に引き続き全てZoomで実施し、学生たちは自宅からスーツを着用しての参加となりました。初めて企業の方とお話をする機会となった学生も多く、緊張した面持ちの様子でしたが、積極的に質問するなど充実した時間を過ごすことができました。また、栄養士・管理栄養士採用の企業を中心にオンデマンド配信での業界・企業研究会も実施しました。こちらについても多くの学生の視聴がありました。

ハローワーク相模原との連携

(対象) 大学4年生、短期大学部2年生

今年度7月から、本学初の試みとしてハローワーク相模原と連携し、予約制で個別就職相談会を開催しました。相模原市に限らず、地元で働きたいと考えている学生を中心に、就職相談をすることができました。大手就職情報サイトや大学に求人を出していない地元企業を中心に求人を紹介してもらったり、今後の就職活動の進め方のアドバイスをもらったりと非常に充実した相談会になったようです。12月には親子向け講座を実施し、多くの参加者がありました。今後もハローワーク相模原と連携し、本学学生の就職活動を支援していきます。

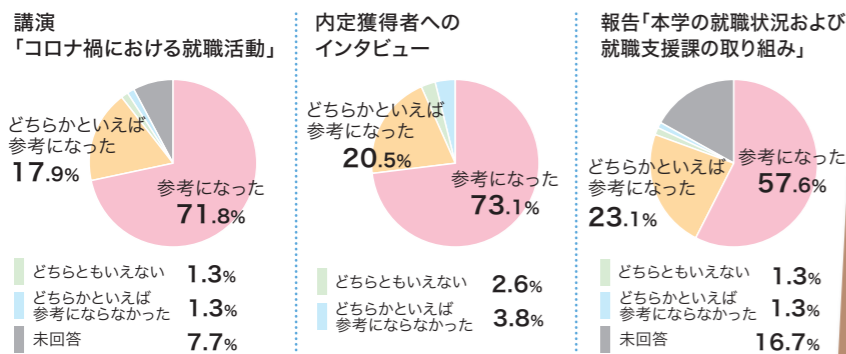
アンケート結果

動画を視聴いただいた保証人の方々のうち、**82名の方からアンケートにご回答いただきました。**

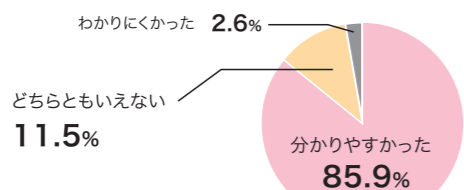
Q1.どのプログラムを視聴しましたか。(複数選択可)

講演「コロナ禍における就職活動」	88.5%
内定獲得者へのインタビュー	94.9%
報告「本学の就職状況および就職支援課の取り組み」	80.8%

Q2. 視聴したプログラムの内容について、当てはまるものを一つ選択してください。



Q3. オンラインでの開催にあたり、視聴者情報登録や動画視聴の方法



保証人の方からのコメント

コロナ禍での就職活動について、理解できて参考になりました。

自分達が就職した時とは、状況や手段が全く違い、戸惑いがありますが、学生の生の声が聞いて大変参考になりました。今後とも手厚いサポートをよろしくお願いいたします。

私(母)も相女卒業生です(1983年短期大学部英文科卒業)当時の就職課のアドバイスも的確で、納得する会社に入社する事ができました。しかしながら、あれから40年近く経ち、就職活動は全く違うので、「就職懇談会オンライン」は大変参考になりました。

内定獲得者のインタビューについては内定先をもっとバラエティーに富んだ形でご紹介いただけたら、より今後の就職活動の具体的なイメージが参考になると思います。

対面による懇談会も貴重な機会だと思っておりますが、日々いろいろと忙しい中では、決まった日付・時間帯に参加できるかは不透明な部分があるため、コロナが終息した後も、オンラインによる懇談会の方が、都合がよいときに視聴できるので、今後もぜひ、この形式を継続していただきたいと思います。

就職支援 Q&A

2023年3月卒業生の採用では、引き続きWebを利用した採用活動が行われる予定であるといわれています。最終面接は対面で行われるかもしれませんが、それまでの会社説明会や一次面接、二次面接はWebで行われる可能性が大いにあります。今回、Webを活用した就職活動について多く寄せられるご質問について、Q&A形式でご紹介いたします。

Q. オンラインインターンシップには参加した方がよいでしょうか。

A. 興味のある企業であれば、ぜひ参加をしましょう。働いている会社や社員の方と直接会うことはできませんが、Webでの説明や体験する内容は今後の就職活動に非常に役に立ちます。企業によっては1日で終わるものから数日間に及ぶものがあります。授業やアルバイトの日程を調整しながら、ぜひ参加してください。

Q. オンライン面接について教えてください。

A. ZoomなどのWebシステムを利用した面接のことです。面接会場に行くことなく、自宅面接を受けることができます。企業が指定するWebシステムの利用方法、通信環境を事前にチェックするようにしましょう。また、自宅であっても就活スーツ着用は必須です(企業から私服の指定がある場合を除く)。就活メイクと就活スーツで臨みましょう。また、部屋の背景が映り込みますので、できるだけ背景が壁になるような場所、顔が十分に明るく映る場所を選びましょう。

Q. オンライングループディスカッションについて教えてください。

A. ZoomなどのWebシステムを利用した集団討論(グループディスカッション)です。企業からテーマが与えられ、それについて企業が提示するルールのもと、10名以内のグループ内で30分程度討論を行います。グループ内で司会や書記、発表者などを決める場合が多くあります。Webシステムを使うという以外は、基本的なことは対面でのグループディスカッションと同様です。オンライングループディスカッションでは、発言するタイミングが非常に難しいです。ほかの人と発言が重なってしまうことが対面で行うよりも多く起こります。自身の発言の最後には「以上です」と言うことや、発言をしない場面ではマイクをオフにするなどの独特のルールがあります。また書記になった場合、タイピングやイメージ図の作成が得意であれば、討論と並行して画面共有をするなどの方法があります。対面とは異なるルールや雰囲気があるため、練習が必要です。

大学からのお知らせ

学生の学びの環境「ラーニングcommons」

マーガレット本館1Fにあるラーニングcommonsは、学生が主体的な学修に取り組むための空間（スペース）です。レポート作成やテスト勉強などでの個人利用はもちろん、仲間とのミーティングや電子黒板を使っのプレゼンテーションの練習をする場としても利用することができます。

ラーニングcommons内には、大学での学修について相談することができる「学修相談デスク」があります。大学院生または修士修了のスタッフが、英語・数学・理科の3分野の学修についてサポートするほか、レポートの書き方やまとめ方、資料の探し方、発表やプレゼンの準備・練習など、「読む」「書く」「話す」「探す」面のサポートを行います。対面でもオンラインでも相談できます。



学修相談デスクの様子

学修相談デスクのスタッフより 相談について、一緒に考えるという立場で接しています。

相談内容で多いのは、レポートの書き方についてです。書くためには、全体の組み立てや文体に注意し、論理的に執筆するなどのポイントをアドバイスしています。

また、1年生の学生にとっては、これまでの環境と違い、レポート・課題提出、定期試験など学修スケジュールの立て方が重要になります。4年生には、ゼミ発表の手順など組み立て方の相談にも対応しています。

相談に来ていただいたら、まずお話を伺い、月ごとに学修スケジュールを確認し、つまづいていることなどを整理していきます。相談に対しては「答えを教える」というより、一緒に考えるという立場で接しています。

事前予約制ですが、空いていればその場で予約してもらい、そのまま相談に入ることもあります。グループでも個別でも気軽に相談に訪れてください。お待ちしております。



支援分野

- 英語、数学、理科
- レポートや卒論の書き方やまとめ方
- 資料の探し方、情報検索の仕方
- 発表やプレゼンの準備・練習

教職センターより

過去最高の合格者

教職センター長 吉岡 日三雄

「学びの歩みを止めない 学びに休みはない」。これは今年、教職センターが掲げた目標です。ここには、コロナ禍で先が見通せない困難な状況にあっても、学生一人ひとりが大学生活に夢と希望をもち、将来が展望できるように全力で支援・指導していただくという教職センターの思いや願いが込められています。

教職センターは、2016年度に教員(幼小中高教諭、栄養教諭)・保育士をめざす学生を全学的に支援する組織として設立され、6年目になります。本学は、教職課程における長い歴史と伝統を有し、これまでも多くの優れた人材を教育界・保育界に輩出してきました。

今年度の教員・保育士採用試験の合格者数は、過去最高となりました。小中高の教員合格者数は、新卒18名(私立1名)と既卒15名で、合わせて33名、公立保育士等にも13名が合格しており、全体で46名が合格をしています。また、この6年間でみても、本学出身者が神奈川県をはじめ、各自治体の教員として新卒71名、既卒は58名(過去5年分)、合計129名が正規教員として、また、公立保育園や幼稚園にも85名が幼児教育の現場で活躍しております。



教員・指導員(敬称略)前列左から、山崎、諏訪部、大里、吉岡、浅見、宗野
後列左から、杉山、青木、後藤、長崎、小久保、土井、石川、富田



担当事務 左から、石川、杉山、唐澤

各自治体の採用試験を突破することは、容易なことではありません。本学の学生一人ひとりが「なりたい自分」を目指して、日々努力をしてきた結果であることはもちろんですが、その学生の自己実現に向けたサポートをするために教職センターでは「教員・保育士採用試験対策講座」を開講しています。筆記試験対策をはじめ、個人面接、論作文、模擬授業等の各種講座を設け、「より丁寧で」「よりきめ細やかな」指導を経験豊富な元園長、校長や関係学科の先生方の協力を得て行っております。

これからも教職センターは、学生にとって「なくてはならない存在として」共に歩んでまいります。保証人の皆様には、教職等の進路でお困りのことや相談がありましたら、どうぞ遠慮なくお気軽にお立ち寄りください。

合格者からのメッセージ

神奈川県 小学校 合格

加藤 真裕奈 さん
子ども教育学科 4年

神奈川県教員採用試験を大学推薦で受験し、合格しました。私は子どもの頃から先生になることが夢でした。私が夢を叶えられたのは自分の力だけではなく、学科・教職センターの先生方や友人の支えがあったからです。試験とは、時に辛く大変なものだと思いますが、試験を受ける前に辛いと感じたことはありませんでした。なぜならば、周りには常に励まし合い高め合える友人がいて、教職センターに行けば真剣に向き合ってくれる先生方がいてくれたからです。教員を目指す皆さん、仲間と高め合いながら楽しく教員採用試験を乗り越えてください。応援しています。



神奈川県 高等学校 国語 合格

遠藤 まどか さん
日本語日本文学科 4年

神奈川県教員採用試験を一般選考枠で受験し、合格しました。私は高校生の時に教員になることを志し、尊敬していた担任の先生に勧められて、相模女子大学に入学しました。大学での授業やサークル活動、また子どもたちと関わるアルバイトを通して教員になる夢が明確になりました。教員採用試験はスタートが遅いため、周りの友人たちが内定をもらい始めることに不安に感じることもありましたが、高校生の時から諦めずにやり切ることができたのは、先生方や友人たちの支えがあったからと実感しています。教職課程をとっている皆さん、引き続き頑張ってください。



お知らせ

学修上(履修・成績)の留意点

履修登録の際には、所属する学部学科および資格課程において定められている履修方法、各授業科目のシラバスを参照しながら履修計画をたてます。各セメスターで履修登録できる単位数は24単位で、年2回履修登録期間があります。履修登録はWeb上で行います。履修登録をしていないと授業に出席していても評価対象となりません。学生には履修登録確認日に、必ず学生ポータルサイト「Smile Sagami」で、登録状況を確認するよう指導しています。また、進級(栄養科学部のみ3年次への進級要件あり)、卒業のためには各学科で定めている授業科目や単位数を修得しなければ

なりません。同一学科でも入学年度(カリキュラム年度)によって進級や卒業要件が異なります。詳細は「Student Handbook」で確認できます。

なお、成績は「Smile Sagami」で発表します。保証人宛には「成績通知書」をお送りしています。

問い合わせ先 **学修・生活支援課**
042-813-5069

保健センターより

学生みなさんに健康でいきいきとした学生生活を過ごしていただくため、健康に関する相談に応じています。体調を崩したとき、不安を感じたり精神的に疲れたときなど、気軽に保健センターを利用するようお勧めください。なお、保護者の方からのご相談にも応じていますのでご利用ください。

定期健康診断

全学年を対象に定期健康診断を実施しています。学生健康診断の実施は学校保健安全法で定められており、病気の予防措置などを目的としています。健康診断の結果によっては呼び出しを行います。「Smile Sagami」の個人宛てお知らせを必ず確認するようお声がけください。学生本人に連絡が取れない場合は保護者に連絡する場合があります。

健康支援

- 病気やけがの応急手当 ※医療機関の受診が必要な場合があります。保険証は本人が所持するようご指導ください。
- 感染症対策、生理痛、アルコール、禁煙、薬物依存などに関連した保健活動
- 学校医(内科 1回/月)、精神科医(2回/月程度 要予約)による健康相談(医師不在時はスタッフが話を伺います) ※相談日など詳細については「Smile Sagami」でお知らせしています。
- 病気や障がいによる学校生活上の支援

学生教育研究災害傷害保険

全学生を対象に、Bタイプ(1200万)通学特約に加入しています。正課中の講義、実験、実習、学校管理下で実施される行事中に生じたけがが対象となります。個人で任意加入する学生総合保険などについては大学への申請は不要です。ご自身で保険会社に問い合わせをお願いします。詳細については、入学時配付の『学生教育研究災害傷害保険加入者のしおり』をご覧ください。

感染報告フォーム(学生用)



問い合わせ先 **保健センター**
042-747-9072 (直通)

開室時間:平日9:00~18:00/9:00~17:00(授業・テスト期間外)
土曜日9:00~12:30 場所:夢をかなえるセンター3階

学校感染症予防について

新型コロナウイルス感染症への対応については、長期的に感染対策を行っていくことが必要です。手洗い・手指消毒、マスク着用や咳エチケットなどの基本的な感染予防対策の徹底を、ご家庭でもご指導ください。感染時・濃厚接触者該当時は出席停止です。感染を疑う症状がある時などは登校を控えていただく場合があります。

上記に該当する場合は保健センターへの連絡をお願いいたします。詳しくは保健センターへお問い合わせください。

また、大学での集団感染防止のため、以下の感染症については母子手帳で予防接種歴の確認をお願いします。抗体価が十分でない場合は予防接種を受けるようお願いします。

- 麻疹 ●風疹 ●水痘(みずぼうそう)

- 流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)

※MRワクチンは麻疹と風疹の混合ワクチンです。

※一部の学科では、抗体価が不十分な場合は実習に参加できません。

学生相談室より

学生相談室では、学生がこころ豊かに充実して学生生活を送ることが出来るよう、臨床心理士の資格をもったカウンセラーがしっかりと話を伺い、サポートしていきます。

対面相談、電話相談、遠隔(オンライン)相談が可能です。

※遠隔(オンライン)相談は学生が対象です。

- 学業について ●進路について ●心の健康について

- 対人関係について ●生活上の問題について

- サークルについて ●その他のようなことでも構いません

特に相談がなくても、談話室でゆっくりと静かな時間を過ごすことができます。気軽に学生相談室を利用するようお勧めください。ご家族からの学生についてのご相談もお受けします。相談内容について秘密は守られます。

オンライン相談フォーム(学生用)

問い合わせ先 **学生相談室**
042-746-6672 (直通)

開室時間:月~金 10:00~17:00 場所:1号館2階



2022年度 出願可能な奨学金制度のご案内

- 1 日本学生支援機構給付奨学金および学費減免(修学支援新制度)
- 2 日本学生支援機構貸与奨学金
- 3 日本学生支援機構奨学金(家計急変向け)
- 4 相模女子大学奨学金
- 5 相模女子大学緊急給付奨学金
- 6 相模女子大学同窓会(翠葉会)卒業時緊急奨学金

※詳細は、本学ホームページ(ホームページ > キャンパスライフ > 奨学金)をご覧ください。併せて、日本学生支援機構奨学金については、日本学生支援機構(JASSO)ホームページにてご確認ください。

問い合わせ先 **1~5**学修・生活支援課: 042-813-5069 **6**同窓会(翠葉会)事務局: 042-742-1737

2022(令和4)年度 学年暦【大学】

2022(令和4)年	9月19日(月) 秋学期授業開始
3月25日(金)~28日(月) 春学期Web履修科目登録期間(在学生)	9月19日(月) 祝日(敬老の日) 祝日授業
4月1日(金)・2日(土)・4日(月) 新入生オリエンテーション、春学期Web履修科目登録指導・登録期間(新入生)	9月23日(金) 祝日(秋分の日) 祝日授業
4月5日(火) クラス会(新入生)	9月26日(月) 秋学期履修科目追加・訂正
4月6日(水) 健康診断(新入生)	10月18日(火) 創立記念日
4月7日(木) 入学式	11月2日(水)~5日(土) 相生祭(2日準備、5日片付け) 授業なし
4月4日(月)・5日(火)・8日(金) 健康診断(在学生)	11月23日(水) 祝日(勤労感謝の日) 祝日授業
4月7日(木) 春学期Web履修科目確認日	12月23日(金) 秋学期前半授業終了
4月8日(金) 履修登録期間(二次募集)	12月24日(土)~1月10日(火) 冬季休業
4月11日(月) 春学期他学部・他学科科目登録	2023(令和5)年
4月12日(火) 春学期授業開始	1月11日(水) 秋学期後半授業開始
4月19日(火) 春学期履修科目追加・訂正	1月18日(水)~24日(火) 秋学期最終授業週および 秋学期末定期試験期間
4月29日(金) 祝日(昭和の日) 祝日授業	1月24日(火) 秋学期授業終了
7月18日(月) 祝日(海の日) 祝日授業	1月25日(水)・26日(木)・27日(金) 秋学期末定期試験期間
7月21日(木)~28日(木) 春学期最終授業週および 春学期末定期試験期間	2月13日(月) 卒業年次成績発表
7月28日(木) 春学期授業終了	3月10日(金) 卒業式
7月29日(金)・30日(土)・8月1日(月) 春学期末定期試験期間	3月14日(火)・15日(水) 秋学期成績発表、 在学生オリエンテーション
8月2日(火)~9月18日(日) 夏季休業	3月24日(金)~27日(月) 春学期Web履修科目登録期間(在学生)
9月7日(水) 春学期成績発表	
9月7日(水)・8日(木)・9日(金) 秋学期Web履修科目登録期間	
9月15日(木) 履修登録期間(二次募集)	
9月16日(金) 秋学期他学部・他学科科目登録	
9月16日(金) 春学期末卒業式	

2022(令和4)年度 学年暦【短大】

2022(令和4)年	9月19日(月) 秋学期授業開始
3月25日(金)~28日(月) 春学期Web履修科目登録期間(在学生)	9月19日(月) 祝日(敬老の日) 祝日授業
4月1日(金)・2日(土)・4日(月) 新入生オリエンテーション、春学期Web履修科目登録指導・登録期間(新入生)	9月23日(金) 祝日(秋分の日) 祝日授業
4月5日(火) クラス会(新入生)	9月26日(月) 秋学期履修科目追加・訂正
4月6日(水) 健康診断(新入生)	10月18日(火) 創立記念日
4月7日(木) 入学式	11月2日(水)~5日(土) 相生祭(2日準備、5日片付け) 授業なし
4月4日(月)・5日(火)・8日(金) 健康診断(在学生)	11月23日(水) 祝日(勤労感謝の日) 祝日授業
4月7日(木) 春学期Web履修科目確認日	12月23日(金) 秋学期前半授業終了
4月8日(金) 履修登録期間(二次募集)	12月24日(土)~1月10日(火) 冬季休業
4月11日(月) 春学期他学部・他学科科目登録	2023(令和5)年
4月12日(火) 春学期授業開始	1月11日(水) 秋学期後半授業開始
4月19日(火) 春学期履修科目追加・訂正	1月18日(水)~24日(火) 秋学期最終授業週および 秋学期末定期試験期間
4月29日(金) 祝日(昭和の日) 祝日授業	1月24日(火) 秋学期授業終了
7月18日(月) 祝日(海の日) 祝日授業	1月25日(水)・26日(木)・ 27日(金)・28日(土) 秋学期末定期試験期間
7月21日(木)~28日(木) 春学期最終授業週および 春学期末定期試験期間	2月13日(月) 卒業年次成績発表
7月28日(木) 春学期授業終了	3月10日(金) 卒業式
7月29日(金)・30日(土)・ 8月1日(月)・2日(火) 春学期末定期試験期間	3月14日(火)・15日(水) 秋学期成績発表、 在学生オリエンテーション
8月3日(水)~9月18日(日) 夏季休業	3月24日(金)~27日(月) 春学期Web履修科目登録期間(在学生)
9月7日(水) 春学期成績発表	
9月7日(水)・8日(木)・9日(金) 秋学期Web履修科目登録期間	
9月15日(木) 履修登録期間(二次募集)	
9月16日(金) 秋学期他学部・他学科科目登録	
9月16日(金) 春学期末卒業式	

地域活動紹介

サガジョ盛り上げ隊プロジェクト

サガジョ盛り上げ隊プロジェクトとは、私達が所属する相模女子大学を、私たちの手で盛り上げたいという思いのもと、2020年度に発足した新しいプロジェクトです。

現在は、様々な学科の学生11名と職員が協働し、学生が主体となって活動をしています。

これまで「発信力」を身につける事を軸に、「2021年度入学式にてSagamiチャレンジプログラムの魅力を広報する活動」、「夢を叶えるセンター・特設サイトの作成」、そして相模原市の小学生を対象とした『SDGsってなあに?』という講座を開き、「一緒にSDGsを考える活動」等、多様な広報活動を通して、相模女子大学や地域を盛り上げてきました。

前例がないプロジェクトに取り組んでいる為、新たにプロジェクトを



入学式で活動を紹介

『Sagamiチャレンジプログラム』for kidsを開催

作るという難しさもありますが、自分達の手で新たにプロジェクトを生み出していき事は、とても大きなやりがいと達成感へと繋がっています。

今後は、これまでの活動で積み上げた、主体性・協働性・発信力・広報力等を次の活動に活かし、本学や地域を盛り上げていきたいです。

サガジョ盛り上げ隊プロジェクト 副リーダー 黒岩 珠緒

おっきリンピック宣伝部

おっきリンピック宣伝部は、2017年に、群馬県富岡市にてはじめて開催された郷土料理「おっきりこみ」をPRする「おっきリンピック」の立ち上げメンバーにより発足されました。主に「おっきリンピック」の広報、富岡市のPR、そして新たな味のおっきりこみを考案し相生祭やおっきりこみで披露しています。イベントを通して、たくさんの方におっきりこみを知ってもらい、郷土料理の良さを知っていただくことができました。過去にはカレー味や洋風トマト味を考案しています。

コロナ禍によりこれまでの活動が難しくなった現在では、毎週Zoomで会議を行い、マスコットキャラクターの製作や、おっきりこみのレシピ動画作り、富岡市の非公式パンフレット等オンラインでも出来る活動を常に探して実行してきました。

これまででは上級生中心の活動が主でしたが、コロナ禍で活動の幅が広がり、アイデア次第で下級生も上級生以上に積極的に活動に参



おっきリンピック出展

2019年 相生祭にて

加することができます。最近では有志のメンバーによる、「ユメカナ★カフェ」の開催など活動の幅を広げています。

現在は、新型コロナウイルスの影響で活動時間等に影響が出ているものの、感染対策を徹底して練習に励んでいます。

おっきリンピック宣伝部 副リーダー 品川 悠

大学祭実行委員会

大学祭実行委員会は、毎年11月に行われている相生祭の大学部を運営しております。

委員会内では、三役局、プロコンサート局、メインステージ局、学内企画局、子ども企画局、広報局、渉外局、庶務局、模擬局の9つの局に分かれて活動しており、芸能人のトークショーや、お笑いライブの企画と運営、模擬店の管理、パンフレットの作成などが主な仕事内容です。現在、さまざまな学部、学科から学生が集まり、友人の輪も広がり、皆で切磋琢磨し、活動をしています。

大学祭は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、昨年度は中止、今年度は初めてのオンライン開催となりました。初めてのオンライン開催で、開催日時やガイドラインの変更があり、戸惑うことも多くありましたが、オンライン開催となったことで、本学に足

を運ぶことがなくても、さまざまな場所から相生祭を楽しんでいただくことができましたと実感しております。

来年度も多くの方々に相生祭を楽しんでいただけるよう、委員一同、さらに活動に励んでいきたいと思っております。

相模女子大学 大学祭実行委員会 委員長 山田 真優



クラブ活動報告

バレーボール部

私たちバレーボール部16名は、週に2回大学体育館で活動しています。

現在は、新型コロナウイルスの影響で活動時間等に影響が出ているものの、感染対策を徹底して練習に励んでいます。日々の練習内容としては、外部コーチの指導のもと基本練習をメインにバスからチーム練習まで幅広く行っています。

昨年度は、新型コロナウイルスの影響で春夏の大会が中止になってしまいましたが、秋季リーグは開催され、参加することができました。新チームとして、なかなか練習ができない中での参加ではありましたが、部員全員がコートに立ち、今後の課題を見つけることができたのではないかと思います。

また、今年度はボールを新たに購入し、来年度からのボールの種類変更や部員増加に対応するため、準備をしました。



外部コーチとバレーボール部員

なかなか運動をする機会のない大学生には、少しでも体を動かせるとても良い場だと思います。いつでも体験を受け付けておりますので、気軽に大学体育館にお越しください。

バレーボール部 部長 青木 紗矢香

アーチェリー部

アーチェリー部は昨年より本格的に活動を復活させ、現在3年生2名、2年生5名の計7名で少人数ながら活動しております。

毎学期初めに部員の空きコマを確認し、活動日と活動時間を決めて部室近くのアーチェリー場にて活動しております。現在は月曜日から木曜日に各2名程に分かれて昼休みと空きコマを活用して練習に励んでおります。

昨年度からは、関東学生アーチェリー連合へ加盟し、大会出場を目標に近射から30mの間でスコアを上げる練習を日々しております。コロナ禍で足踏みを迫られており、なかなか思うように活動が出来ておりませんが、各部員が目標を立てて達成するべくコツコツと前へ向かっております。今後としまして

は、他大学との共同練習、大会への出場、自身の目標達成とさらなる成長を掲げてアーチェリー部伝統復活と、今後へつなげる部活動になるようこれからも部員一同日々精進して参ります。宜しくお願いいたします。



アーチェリー部 部長 矢野 本子

昼休みや空き時間などで練習を行う様子

吹奏楽部

私たち相模女子大学吹奏楽部は、神奈川工科大学と合同バンドを組み、「AKASHA Wind Ensemble」として、活動を行っています。

今年度は、新たに12名の部員と指導の先生を迎え、楽しく練習をしています。

昨年度から、新型コロナウイルスの影響により両校一緒に活動ができなかった期間がありました。また、毎年行っている大学祭での演奏や、定期演奏会などのイベントも中止になってしまいました。

今年度から、徐々に活動が再開し両校一緒に活動が出来るようになりました。活動の際には感染症対策を行いつつ、9月に行われる定期演奏会に向けて準備を行っていましたが、緊急事態宣言の発令により、今年度の定期演奏会も中止になってしまいました。



演奏会に向けて準備を行っている様子

しかし、今年度の文化祭はオンラインで行うことになり、動画を通して吹奏楽部の演奏を行いました。今年度初めてのイベントだったため、集大成を見せつつ、楽しんで行うことができました。

最後になりますが、このような状況の中、活動を支えて下さる大学関係者の方々、指導の先生方には大変感謝しています。今後とも吹奏楽部の活動を見守って下さると幸いです。

吹奏楽部 部長 堀木 あすか

2021(令和3)年度 課外活動奨励賞受賞者一覧

この賞は、様々な課外活動の分野で顕著な活躍をした学生(個人および団体)を、
大学と後援会が共同して表彰することにより、広く学生全体の課外活動を奨励することを目的としています。

個人		
個人名	所属学科	表彰内容・理由
服部 香梨	日本語日本文学科 4年	1年次から4年間、学生ノートテイクとして熱心に活動し、聴覚障がい学生のサポートを行った。ノートテイク講習会では先輩学生として参加し、学生ノートテイクの普及活動にも貢献した。コロナ禍でも障がい学生の授業や状況に合わせ円滑な支援ができるように工夫し、意欲的にサポートする姿勢は、まさに相模女子大学が目指す「社会に貢献できる女性」であると言える。
大楽 友香	英語文化 コミュニケーション 学科4年	毎週土曜日に開催されている「CEMLA学習支援教室」に学生ボランティアとして1年次から4年間継続的に参加し、中心的な役割を果たした。CEMLAの活動において学習者との信頼関係が大きな意味を持つことに早くから気づき、地道に活動を続け、学習者のみならずCEMLAスタッフからも厚い信頼を得た。コロナ禍でのオンライン(Zoom)開催にも尽力し、CEMLA活動の継続に貢献した。
尾崎 美波	健康栄養学科 1年	1年生ながら「第3回野菜がとれるおやつ・スイーツレシピコンテスト」に挑戦し、「ねっとり!カリカリ!皮ごと南瓜のミルフィーユケーキ」で最優秀賞を受賞した。このレシピはレムブラントホテル海老名のbuffetで提供された。南瓜の甘味を活かす、2種の食感を取り入れる、南瓜の皮を使用する等随所に工夫を凝らし、Zoomでのプレゼンテーションにも努力を惜しまなかった。

団体		
団体名(所属学科)	表彰内容・理由	
社会マネジメント学科 チーム大館 (社会マネジメント学科)	「いかなる状況にあっても大館市との交流を絶やさない」をモットーに、大館市側と話し合いを重ね、オンラインによる二元中継イベント「こどもとおとなの文化祭」を開催した。大館市側の方々とは緊密に連携を取りながら、チーム一丸となってイベントを成功させたことは、大館市役所を始め、大館市の方々から高く評価され、秋田県庁からも注目を集めた。コロナ禍においても初の試みに果敢に挑戦し地域貢献を続けたことは、相模女子大学の地域協働活動の模範と言える。	
中山間地農業再生支援チーム (英語文化コミュニケーション学科)	2021年2月～12月に北陸地方を中心に感染対策をしながら以下の地域貢献活動を行った。 1. 全国エコツアーリズム学生シンポジウムに応募し、「富山県土山地区での「住民+学生協働」による「日本の原風景・里山と文化」を体験する地域主導型「歩く」エコツアーの実践」が全国の大学より分科会口頭発表枠に選出され、東京都内にて口頭発表を行った。 2. 富山県庁、NPOグリーンツーリズム富山とチーム学生の協働で、富山県南砺市土山地区、同氷見市論田熊無地区で14日間のフィールドワークと地域住民とのワークショップを行った。 3. 富山県氷見市論田熊無地区についてオンラインでの相生祭参加の準備を行った。これまで現地では対面で販売をしていた特産品をEコマース化(通信販売)をサポートしながら販売サイトを構築し、地域のDX(デジタルトランスフォーメーション)に大きく貢献した。 コロナ禍ではあったが、政府の推進する地方創生、地域活性化の提案を学術的かつ実践的な内容に高め、相模女子大学の教育重要点である「発想力」を発揮した活動と成果を社会に広く知らしめた。	
コンテスト2021チーム (英語文化コミュニケーション学科)	コロナ禍でも前向きにコンテストに挑み、神奈川県経済同友会主催「神奈川県産学チャレンジプログラム」では「One's life design美しく輝くためのライフプランニング」で最優秀賞、「ロコマルCIAL」が届ける横濱物語」旧横ギャラリーと横浜開港港菜を組み合わせたSPECIALなマルシェ」、「認知度向上のための2つの顧客獲得作戦～変わらない美味しい味の継承のために～」で優秀賞を受賞した。また、相模女子大学主催の「さがみ発想コンテスト」では「コンテナカフェを活用したオシャレなカフェSagajo terrasse」でグランプリ、「サガジョ銀杏フェスタ」、「オンラインで気軽に参加プレ同窓会」で準グランプリを受賞、「さがじょカード」で入賞を果たした。	
学生プロジェクト団体 「サガジョ盛り上げ隊プロジェクト」 (日本語日本文学科・英語文化コミュニケーション学科・社会マネジメント学科・人間心理学科・健康栄養学科)	本プロジェクトは、学生自らの手で大学を盛り上げたいと考える学生により2020年9月に発足した。プロジェクト名も学生が命名し、その名のとおおり、夢をかなえるセンター連携教育推進課における社会貢献活動や国際教育等を通じ学生自身が身につけた力を、学内外へ広く発信することにより大学を盛り上げた。夢をかなえるセンター特設サイトの制作、オンライン地域物産展の企画・運営、地域の小学生向けイベントにおけるオンライン講座の企画・運営等、コロナ禍にあっても創意工夫を凝らして様々な活動を行った。	
子ども教育学科ボランティアグループ 「どれみんみん」 (子ども教育学科)	withコロナでの新たなボランティア活動のあり方として、2021年度は「企業ならびにNPOと連携して、福祉施設を支援する」という形を模索した結果、企業から提供された物品等を有効活用して頂ける社会福祉施設等に寄贈する「橋渡し」を担う活動を開始し、スタートアップイベントの実施や神奈川県内の児童養護施設等へ寄贈を行った。企業からの物資を有効活用し、社会的弱者の支援に役立てることは、相模女子大学が掲げるSDGsのポリシーにも合致し、地球規模で社会を見据え、マクロ視点で福祉を考えるという点においても、その活動には大きな意義がある。	

2021(令和3)年度 科学研究費助成事業採択状況

所属学科	教員名	職位	研究種目・研究課題名		
日本語 日本文学科	下田 章平	准教授	基盤研究(C)	研究代表者	関西中国書画碑帖コレクション形成の研究―未公開資料の分析を中心として―
	南 明日香	教授	基盤研究(C)	研究代表者	ジャポニスム以後の浮世絵評価の比較研究―永井荷風と小島烏水を中心に
	宮原 志津子	教授	基盤研究(C)	研究代表者	公共図書館員のコンピテンシー獲得を目的とした図書館実習ガイドラインとモデルの提案
	高木 信	教授	基盤研究(C)	研究分担者	玉里文庫本「古筆源氏物語」の本文と伝来の研究
英語文化 コミュニケーション学科	九里 徳泰	教授	基盤研究(C)	研究代表者	日本における女性社会進出と企業活動―女性社会進出指標と企業パフォーマンスを中心に
	小泉 京美	教授	基盤研究(C)	研究代表者	アジアにおける邦人現地採用のキャリアパスと日系海外現地法人の人材雇用戦略の研究
	宮本 節子	准教授	基盤研究(C)	研究代表者	インバウンド旅行者のための日本英語学習教材の開発：話者同士の平等性希求の観点から
子ども教育学科	渡辺 幸倫	教授	基盤研究(B) 基盤研究(C) 基盤研究(C)	研究代表者 研究分担者 研究分担者	越境する日本人国際結婚家庭の教育意識―アジア五か国でのライフストーリーから旧日本委任統治領「ミクロネシア地域」の歴史教育に関する研究 インバウンド旅行者のための日本英語学習教材の開発：話者同士の平等性希求の観点から
	宇田川 久美子	教授	基盤研究(C)	研究代表者	保育における遊びの「おもしろさ」に関する研究
	七海 陽	准教授	基盤研究(B)	研究分担者	デジタル・シティズンシップ育成に資する保護者による幼児への介入―発達段階への着目
メディア情報学科	荻本 快	准教授	若手研究	研究代表者	メンタライジングを測定する内省機能尺度(RFQ)の日本語版の開発
	池下 花恵	准教授	基盤研究(C)	研究代表者	創作アプリが言語活動にもたらす要因と読み書き支援への応用
	今井 さやか	教授	基盤研究(C)	研究代表者	津波デジタルライブラリを基盤とした防災教育支援システムの構築
生活デザイン学科	加藤 由樹	教授	基盤研究(C) 基盤研究(B) 基盤研究(C)	研究代表者 研究分担者 研究分担者	mラーニングの感情面支援のためのコミュニケーション過程の感情伝達に関する基礎研究 「モバイル×ソーシャル時代」のSNS使用と幸福感等に関する総合的研究 集合知によるマンガ要約テストの確立と、その評価基準を用いたマンガ要約ソフトの開発
	金 相賢	講師	基盤研究(C)	研究代表者	VR空間における視差量操作が認知過程に及ぼす影響
	門屋 博	教授	基盤研究(C) 基盤研究(C)	研究分担者 研究分担者	複合情報を持つ汎用的都市空間シミュレーションシステムの開発と評価 アンビルト作品の可視化に向けた創造的アート・アーカイブの試み
社会 マネジメント学科	角田 千枝	教授	基盤研究(C)	研究分担者	乳がん患者の衣服選択を支援するスマートミラー開発のための基礎研究
	中西 泰子	准教授	基盤研究(C)	研究代表者	世代間ケアに関する意識変化の解明：複数データの二次分析に基づく検証
人間心理学科	松崎 吉之助	准教授	基盤研究(B)	研究分担者	医療機関を起点とした生活課題をもつ人への地域連動型支援プログラムの開発研究
	伊東 俊彦	准教授	基盤研究(C)	研究代表者	当事者性とその表現―精神障害当事者のアート活動についての哲学的研究
	後藤 和宏	准教授	新学術領域研究(研究領域提案型) 基盤研究(C)	研究代表者 研究代表者	メタ認知的コントロールの比較認知 数量認知の進化的起源
	日戸 由刈	教授	基盤研究(C) 基盤研究(B) 基盤研究(C)	研究代表者 研究分担者 研究分担者	自閉スペクトラム症児者同士の仲間集団が社会性の発達とQOLに及ぼす影響 自閉症のコミュニケーション障害に対する自閉的共感の多角的検討 自閉スペクトラム症児者の認知特性と言語コミュニケーションにおける選好性
	芝田 征司	教授	基盤研究(B)	研究分担者	インクルーシブなプレイス・アタッチメント指標を用いた建築計画学研究
健康栄養学科	山本 絵里子	講師	若手研究	研究代表者	舞踊の発達の起源の検討
	榎本 ヒカル	教授	基盤研究(C) 基盤研究(C)	研究代表者 研究分担者	「住まい方知」の構成要素把握と住居学学習のこれからのあり方に関する研究 和の住まい方教育に関する基礎的研究～和の生活文化の継承と創造を目指して～
	嶋田 昌子	教授	基盤研究(C)	研究代表者	骨密度関連SNPs近隣由来のmiRNAsによる骨代謝制御の検討
	奥村 裕司	教授	基盤研究(C)	研究分担者	骨密度関連SNPs近隣由来のmiRNAsによる骨代謝制御の検討
管理栄養学科	鶴崎 美徳	准教授	基盤研究(C)	研究分担者	舌発生異常を伴う症候群における舌形態診断のための研究
	海和 美咲	助手	若手研究	研究代表者	疑似的他者の存在によるおいしさと脳活動の変化についての研究
	黒岡 尚徳	教授	基盤研究(C)	研究分担者	消化管上皮の領域特異的な発生と分化を制御する分子基盤の解明
食物栄養学科	今井 敦子	講師	若手研究	研究代表者	母マウスの食餌誘導性肥満が仔マウスの「免疫老化」に及ぼす影響
	吉岡 有紀子	教授	成育疾患克服等次世代育成基盤	研究分担者	児童福祉施設における栄養管理のための研究
食物栄養学科	笹田 周作	准教授	基盤研究(C)	研究代表者	四肢の体性感覚制御によるスプリントパフォーマンス改善の試み
	山口 孝治	准教授	若手研究	研究代表者	食品の香気成分の抗菌活性を用いた新たな感染症対策



相模女子大学 後援会
相模女子大学短期大学部

後援会会報 第54号

発行日/2022年3月22日 発行所/相模女子大学・相模女子大学短期大学部後援会

編集責任者/後援会事務局

住所/〒252-0383相模原市南区文京2-1-1 電話/042-747-9067